

## 『手賀沼が海だった頃』

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会 2009年2月20日

## 今までの経緯について

5月以降、松ヶ崎城跡は大きく揺れ動きました。僅かに繋がっていた地権者と柏市の糸が切れ、現地北側の斜面を中心に破壊され、城郭北側の樹木が伐採されました。市指定の文化財が破壊されたことからマスコミでも報道されるなど、社会的にも問題となりました。

当会では、この事件の当初から、工事の中止と地権者と行政の話し合いを求めて様々な活動を行って参りました。新聞やテレビで報道されたことから、関係者各位からも様々な助言やご意見をいただきました。

これらについて、会員の方々をはじめ皆様に、状況をお知らせしたいと思っておりましたが、変化が激しすぎたこと、会として地権者と市の間に入ったことなどから、その都度の報告ができませんでした。

今回、柏市と地権者の交渉がまとまりましたので、これまでの経緯を報告いたします。

## 推移

2008年5月16日（金）

松ヶ崎城址での工事、樹木伐採の報を受ける。役員が柏市教育委員会の川上博司（当時）生涯学習部長、友野文化課長と面談し、保存のための早急な処理を要望。その後、工事現場に行き地権者と話し合う。夜、拡大委員会で関係各所に要望書提出を決定。

5月18日（日）

「要望書」作成。提出先は「地権者」「柏市長」「教育長」「文化財保護委員会」の4者。夜、役員が地権者宅を訪問。要望書を渡すとともに3時間近く話し合い。具体的回答は得られず。※なお、要望書の内容については、当会ホームページをご覧ください（URL <http://www.matsugasakiyo.net/>）。

5月19日（月）

柏市長、教育長、文化財保護委員会会長に要望書提出。

5月20日(火)

市役所記者クラブで記者会見。要望書の内容、これまでの経緯について説明。その後、工事現場で地権者と話す。

5月22日(木)

文化財保護委員会より「柏市に対して、保存についての緊急提言を提出した」との回答をもらう。

これ以後も工事は継続されたまま。20日の段階で記者クラブには川上博司(当時)生涯学習部長の「借りるための交渉を開始する」とのコメントがあったというが、地権者と柏市との協議も行われず、柏市は「工事差し止めの仮処分」を地裁に申請。状況はさらに悪化。

5月30日(金)

北柏駅2カ所で、市民に現状を訴えるビラを配布。

状況の悪化で、緊急な対処が必要と判断、役員が地権者に対しテーブルにつくように具体案を電話で提示、説得し、よい感触が得られた。これを前提に、浅羽副市長と電話で連絡。双方が話し合う方向であることを確認。

6月1日(日)

地権者宅を訪問。電話で話した3要件……①工事を中止する、②市と借り受けの話し合いを開始する、③借り受け期間は20年とする……を、「確約書」として文書で確認。

6月3日(火)

浅羽副市長、川上博司(当時)生涯教育部長、友野文化課長と会い、地権者との話し合いの経緯を説明するとともに、地権者の「確約書」を添付した「第2次要望書(期限付き)」を提出した。会談では「同日午後から、担当者が話し合いに入ること」「仮処分申請を取り下げること」などを確認。

同日夜、地権者と電話連絡し、「工事を中止したこと」「話し合いに入ったこと」を確認。

その後、双方による話し合いが行われました。市によって仮処分申請が取り下げられず、裁判所から申請が却下されたことなど、紆余曲折がありましたが、ようやくまとまったことは新聞等で報道されたとおりです。

松ヶ崎城跡がどのように保存されるかは、これから検討されることになっていますが、当会としても出来ることは協力していきたいと思えます。

## お知らせ

鈴木会長が体調不良のため、川上利男が会長代行として当面の活動を行っていきます。